

台東部門	部署:特別養護老人ホーム	発表者:前島 雅紀
主題	外国人介護者との関りと人材育成	
副題	個々を活かす為の提案	

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

2016年から外国人介護者(留学生)を受け入れを始めた当初、日本語、文化の違いなど大きな壁があり、それをどのように乗り越えていくのかが、大きな課題でありました。

マニュアルのない中、一つ一つ問題をクリアしながら、2017年「在留資格」の介護職員を受け入れ、それ以降も言葉に対する指導方法を考え対応を行ってきました。

しかし、2022年9月日中に緊急時対応で問題が起き、今までの指導に迷いが生じました。

私たちは人材を育成できたのだろうか。指導方法の見直しを検討する必要があるのではないか考えた。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

事故が起こった事で気が付く。職員の指導に足りていない部分や本人たちの本音をとらえることを行う。また、指導の方法や日々の業務の関り方を変える事で、外国人介護者が自信をもって働けるようになる。また、仕事上で自分の個性を引き出せる役割を持つ。そして、介護技術をしっかりと覚えることで、本人やトレーナーも自信をもって成長できる方法を見つける事ができる。

《3. 具体的な取り組みの内容》

2016年～現在までの、あらゆる対応を精査して、現在の人材育成の流れ(留学生・日本人問わず)を客観的にとらえる。また、事故があった時にいた外国人職員へ聞き取り(困ったこと、気持ち等)。

その後、各部署と外国人職員と指導方法を検討し、事故の対応はもちろん必要だが、目先の事故の対応だけに集中するのではなく、個々が生きると指導や関りが必要なのではないかと意見があり、委員会で積極的な意見を求めたり、納涼祭では母国の祭りの紹介記事を作成してもらったり、実習生の準担当としてアドバイスをしてもらって行ってきました。そこから自信を持ち、外国人職員だから難しいだろうと思うこともクリアしていく事ができるのではないかと取り組んできた。

《4. 取り組みの結果》

各職員・職種の対応を変える事で、外国人職員は確認や聞き直しやすくなっていった。また、多職種が声をかけることにより仲間としての意識も強くなっている。そして、委員会・行事・実習生対応(コメントも記入)等で母国の特性を活かした活躍の場を楽しみ、個人に対しての付加価値を自分自身で身に付けていくことができている。また、今まで同様に介護技術に関しては、介護職の先輩より指導を行い確認するという流れで、正確な介護技術が身につけている。

自信を付けた外国人職員で「出来ない事を出来る」為に、今は緊急時対応マニュアルの「母国語化」を作成している最中である。

《5. 考察、まとめ》

自信・差異化・確かな介護技術が身につくにつれ、「特別な存在」という事で自信を持ちながら働ける環境作りは少しずつできている。今回の救急対応で問題となった件は、外国人人材の問題だけではない。指導に限界は作るべきではないと思うが、人員配置やその職員における環境も大いに「指導」に影響してくる。やれない事、やれる事、やらなくてはいけない事、やれないけどやるべき事(実際は困難)をきちんと精査していく。そして、それに応じた人員配置・指導方法の変化を行う事こそが、組織を守り、入居者を守り、その職員を守るのではないかと。出来ない事で自信を無くすような場所は作りたくない。今後

も施設全体で、より良い人材育成を行っていきたいと考えている。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

- ・かんたん旅会話(ベトナム語) … 昭文社
- ・ミャンマー人材 実践ガイドブック … 日本実業出版社
- ・外国人介護職への日本語教育法 … 日経メディカル開発
- ・小学校「こくご」 … 光村図書
- ・読売新聞
- ・社員をホンキにさせるブランド構築法 … 同文館出版

《8. 提案と発信》

- ・個別の人材育成「CCD 育成」を検討していく
 - ・『差異化』をどのようにつけていくのか、検討し各施設間で情報共有していく。
 - ・『確かな介護技術』を得るための講習会を聖風会で実施。
 - ・『自信』を持つための外国人介護者による発表会を開催。(3年目以上の経験)
- 例; 介護士になってよかったこと・母国と日本の介護 等を題材に上げて、発表する。
アクティブ開催時に行う。

・円安の状況下で、外国人労働者が日本から減ってきている現状である。デメリットが多い中でどれだけ日本の仕事に興味を持てるのか、魅力があるのかを考えながら、KAIGOを発信できたらと思います。